

謹賀新年

2007年



加東市長

山本 廣一



加東市議会議員

井上 茂和

皆様方には平成十九年輝きあふれる新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お正月は、新しい年の五穀豊穡と子孫繁栄を願って、家を守ってくださる「年神様」をお迎えするための農耕儀礼だったそうです。今年の干支の「亥」は「百姓のつくり神」と歌にもうたわれ、その象徴といわれています。

「ふるさとで迎える正月」それは心なごむ時でもあります。人と人、家族、仲間、地域の和を大切にすることにより、その積み重ねが人生を楽しく充実したものにします。そして、周りのみなさんとの関わりが活力となるのです。

今年の大河ドラマ「風林火山」の旗印で有名な武將、武田信玄公の言葉に次のものがあります。

「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり。」

どれだけ城を堅固にしても、人の心が離れてしまつたら世を治めることができない。情けは人をつなぎとめ国を栄えさせるが、仇を増やせば国は滅びるという意味で、この言葉どおり、信玄公は生涯で新たに城を築くことはなかったそうです。家族という城、地域という城も、人と人との結びつきであり、加東市もまた、皆様とのつながりが重要であると考えます。皆様の声は、私たちの力強い励みとなります。そしてその結果が、地域の発展、個性あふれるまちづくりへと導かれると確信しております。

次世代につながる加東市として邁進するため、今後さらさら「行財政改革の推進」、「安全・安心のまちづくり」、「産業基盤の充実」の三点の重要課題に取り組み、「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく、元気なまち加東へ」と着実に進んでまいりたいと思ひますし、皆様にはふるさとを愛する心、郷土の誇りをもって、加東市を盛り上げていただきたいと思ひます。

本年が、皆様にとりまして幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとございませう。皆様方には加東市合併後、初めてのお正月を輝かしく、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、三月二十日に加東市が誕生し、人口四万人のまちが発足いたしました。四月三十日には山本新市長が誕生し、新生山本丸が出航いたしました。また、十月二十九日には市議会議員選挙が行われ、十一月八日の臨時会より二十人の新体制で加東市議会がスタートいたしました。不肖私が議長として就任させていただき、他の十九人の議員各位と市民の皆様のご支援、「指導を頂きながら議会活動に邁進している」とございませう。

さて今、加東市はいろいろな面で課題が多く、大きく改革していかなければならない時であります。しかし、急な百八十度転換には無理が生じると思ひますし、残すべきは残し、廃すべきは廃すことの見極めが必要な時であると思ひます。

地に低く、しめわせありと 福寿草

「目立たず、無理せず、背伸びせず」福寿草は黄金色の小さな花でつまみさの中にも誇らしげに咲いています。目立たない小さい花ですが、しっかりと根強く咲いている福寿草の花のようなまちづくりで、地に根付いた「加東」という花を一日も早く咲かせたいものです。

また、旧町の伝統文化を生かし、それぞれの経緯を十分調査研究し、市民の方々のご意見を拝聴し、施設のあり方等々も踏まえながら前向きに取り組んでいかなければならないと思ひます。そのためには、市民の皆様にも加わっていただき、行政・議会・住民が三位一体となって「輝く加東」を目指していくことが大切であると思ひます。

市民の皆様のお二層のご指導、「鞭撻をよろしくお願ひし、本年が皆様にとって、より良き年になりますよう」に祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。